



中友会会報について

中友会会報が一二〇号になりました。今号では中友会会報について担当副会長として会員の皆さまを始め、現役の校長先生方・関係の皆さまに、現在の中友会会報についてご理解をいただきたい内容にいたしました。

会報創刊号は

中友会会報創刊号は昭和五七年五月二〇日、左の枠内は「会報発行に至るまで」の一部です。以来「会員の親睦と互助を深め、あわせて生涯学習の充実を図る」という会の目的に沿って、年間三号を基本に営々と四十年、多くの会報編集幹事の

・会報発行に至るまで

上田 利男

会員各位のご協力により、多年念願とされていた会報が、創刊号として発行することになりました。

この会報の装幀や形式にも、種々考慮したところで何かとご批判もあることと思いますが、今後会員のご助言やご協力によりますます有意義な、しかも権威あるものといいたしたいと思います。



[発行所]

中友会

港区西新橋1-22-13
全日本中学校長会館202号室
東京都中学校長会事務局内
TEL 03-3504-8705
FAX 03-3504-8706

会則第2条

- 親 睦
- 互 助
- 生涯学習

<http://chuyu-kai.org/>

中友会副会長 八島 行久

方々が発行にご尽力され今日に至っています。

現在も、その意思を受け継ぎ、会報編集幹事が「年間発行計画」を作成して、原稿依頼・割付・年度にわたる校正の作業を行っています。

会報の発送先は

中友会会報の発行総数は約二、七〇〇部、発送先は、会員の皆さまを始め、現役の校長先生方、各教育委員会、都中学校長会、全日本中学校長会、東京都退職校長会、計報等の関係ご遺族様、原稿執筆者の方々、都民互助会にお送りしています。

会報の支出割合は

令和三年度では発送経費を含めて約九七万円の支出、支出総額の約五五%を占めています。令和四年度では「第十八回合祀慰霊祭特集号」を含めて年四回、一三〇万円を計上しています。支出総額の約五四%になります。計算上のことになりませんが、会員の皆さまから直接戴く会費収入に限れば約七五%が会報の費用に充てられていることとなります。

会報の印刷・発送は

会報の印刷・発送は日本印刷株式会社に発注しています。特に印刷業界の製版技術の向上には目を見張るものがあります。紙面レイアウトの提案と工夫、手書き原稿の活字化など、会報編集幹事との綿密な打ち合わせを行っています。

会報の内容についての工夫

内容の工夫として、はがきによる「会員の窓」を企画、約一〇〇通に及ぶご寄稿をいただきました。会員の皆さまのお考えや近況などをお書きいただく、誠にありがとうございました。

『会報』いつも楽しく拝読。ところが60代には最初の会長挨拶から順に読んでいたのが、80代以降からは「計報」から見ようになり、この先生もお亡くなりになりに...と当時の思い出にふけり懐かしむようになった『懐かしい先輩方や同輩の皆様方との顔合わせも寂しくなりました。この二百文字たよりで繋がりが欲しいもの』など、今後多くの会員の皆さまの繋がりを工夫したいと考えています。また、前号の「第十八回合祀慰霊祭特集号」では工夫として、ご遺族の方々にご寄稿をお願いいたしました。ありがたいお言葉を多くいただくことができました。

会報の今後は

「読む会報」から「参加する会報」の在り方をさらに考え、工夫をしてみたいです。会員の皆さまの節目の時期を考え、はがきによるご寄稿をお願いすることを考えています。ご協力賜りますようお願い担当一同、心よりお願い申し上げます。

R3年度決算じょうごグラフ

